

学校教育目標	「みんなで認め合い 学び合い やりぬく本牧の子」 ～自分大好き 友だち大好き 本牧大好き～ <知>しっかり聞き、しっかり話し、主体的に考え、意欲的に学び続ける力を育てます <徳>自分を大切に、人を思いやる優しさを育みます <体>運動やスポーツに積極的に取り組み、心身ともにたくましく生きる力を育みます <公>本牧、横浜を愛し、自分の役割や働くことに積極的に取り組む態度を培います <開>多様性を尊重し、心を開き、進んでコミュニケーションがとれる力を育てます				
	創立 32 周年	学校長 濱田 哲也	副校長 吉田 圭一	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 378 人 主な関係校: 大鳥中 本牧中 大鳥小 本牧南小 間門小				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
■主体的に社会参画する姿勢 ■他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ■夢や希望をもち、生き方を追求する姿勢	大鳥中学校 本牧中学校 大鳥小学校 間門小学校 本牧南小学校 本牧小学校	〇本牧のまちに開かれながら学び、まちを大切に育てる子ども 〇多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども 〇学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ・「本牧のまち」との関わりやつながりを大切にする学びのマネジメント。 ・小中合同授業研究会を設定して児童生徒の学習や生活のスムーズな接続。 ・2中4小合同運営協議会や学業地連、関係機関との連携を通して、本牧のまちに生きる子どもの健全な育成。

中期取組目標	「本牧小楽校」の実現を目指す ○一人ひとりが互いの人権を尊重し合い、多様性を認め合う学校 ○一人ひとりが自分らしく学校生活を送れ、安心して自己表現・自己実現できる学校 ○一人ひとりが自分のよさを発揮しながら成長する喜びを実感できる学校 ○地域とのつながりを大切にして、家庭・地域とともに健全な子どもたちを育む学校
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導 生きて働く知	①主体的な学びを目指すカリマネのPDCAを年間通して実践する。②話の聞き方や話し方等、学習習慣のスタンダードを図る。③特別支援教育の視点と教科等の見方考え方を働かせる授業研究を実践する。④主体的な学びや個別最適な学びの実現のためのICTの有効活用の在り方を研究する⑤子ども自身の学習評価を積み重ね、学習成果を自覚・認識できるようにする。
担当	学力向上委員会	
徳	児童生徒指導 豊かな心	①YP等とのデータをもとに、多様性を尊重し合える学級集団作りを行う。②個別支援学級や国際教室、特別支援教室の理解を図るとともに、交流学級を通して相互理解を推進する。③異学年交流やさまざまな行事を通して、縦の関係づくりを促進して、憧れや思いやりの心情を育む。④特別支援教育や児童理解についての知見を高め、教職員の児童指導力を磨く。
担当	児童指導、特別支援	
体	健康教育	①体育科の目的や目標を共有し、運動特性に応じた楽しさを味わわせるとともに、保健学習や健康診断・体力テストとの関連を図って運動への関心や健康意識を高める。②子どもの発達段階に応じて食育を推進して、栄養バランスよく食べる態度と感謝の気持ちを育む。③児童会活動を通して、運動に親しむ機会や自分の目標に向かって運動に取り組む機会を設定する。
担当	体育、食育	
公開	自分づくり教育	①自分づくりパスポートを活用して、目標に向かって諦めずに取り組む大切さに気付かせ、その姿勢や態度を身に付けさせる。②様々な学校内での活動を通して、自分が貢献できた有用感や他者と協力し合って目標を成し遂げる達成感を味わわせる。③日々の教科等の学習を通して、やり遂げてきた事柄や自分が身に付けてきた資質・能力を実感できるように働きかける。
担当	特活	
	いじめへの対応	①月1回以上のいじめ防止対策委員会を実施。未然防止に向けた対策、状況共有、事案発生時の対策協議等、組織的に行う。②アンケートを通して実態把握を丁寧に行うとともに、相談窓口を周知していち早く察知できる体制を整える。③情報が留まらず、児童支援専任を窓口にして情報が集約されて組織的に素早く対応できる体制を整える。
担当	児童指導	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①持続可能な組織に向けて、部内での人材育成を意図的に実施する。②メンター研の計画的実施を通してメンティーの自主的な成長と中堅教員の意識向上を図る。③IT活用推進を通して、会議や業務の効率化を図る。④「和」を重んじて挨拶を励行。職種を超えた風通しの良い職場環境の構築と維持を図る。⑤キャリアに応じた業務の質や量のマネジメントを行う。
担当	教務	
	特別支援教育	①「一人ひとり」の視点で、児童理解や児童指導の共通理解を図る。②特別支援コーディネーターや児童支援専任を中心とした校内支援体制を整え、有効に機能させる。③個別支援計画・個別指導計画をもとに、家庭としっかり連携を図る。④不登校や保健室登校の児童について、児童のペースで学べる時間と場所を設定できる場を用意。必要に応じてオンラインでの学びの場を設定。
担当	特別支援	
	人権教育	①日常の学校生活や学習の中で、相手の気持ちを考えながら話を聞く態度や相手を傷つけない言葉遣い等について指導する。②互いの様々なちがいを認め合いながら、自分や友だちの良さを感じ取り合える学級づくりを実践する。③教職員の人権研修を通して、人権意識を高め人権感覚を磨く。④人権週間を通して、今日的なさまざまな視点での差別を材にした学習を実践。
担当	人権	
	GIGAスクール構想	①ICTの活用を全校で推進するとともに、効果的な活用事例を教職員間で共有できる場を設定する。②情報モラルや著作権等の課題については、警察と連携を図ってサイバー教室を受講したり、取り立てて指導を実施したりするとともに日常的に指導を行う。
担当	情報教育	
	地域学校協働活動	①「学校運営協議会」を通して、地域・保護者と学校との連携を深めていく。②総合学習や生活科など学習を通して、地域との関係を深めるとともに、学校や地域の歴史を理解することで誇りや愛校心を育てていく。
担当	教務	